

給食等での窒息事故防止、迅速的確な対応を

立憲・市民フォーラム
だて 淳一郎



給食の誤えん（詰まり）への対応について

だて) 給食等をのどに詰まらせる死亡事故が各地で発生しているが、当市での対応を伺う。
市) 本年2月の福岡県での事故を受け、文科省から指導徹底の通知があった。各校で食べ方の指導を改めて行っている。なお、当市では以前よりウズラの卵は給食に使用していない。
だて) 万が一の対応は1秒を争う。教職員は腹部突き上げ法等の異物除去訓練を定期的に受けているか確認する。
市) 例年、プール開始前にAED訓練等とともに窒息事故への対応訓練も行っている。
だて) 明日、その状況に直面するかもしれない

という緊張感を持って訓練を行うよう求める。また、保育所や高齢者・障がい者施設等においても知識、技能の再確認をお願いしたい。

第二小学校の教室不足について

だて) 推計では二小は来年度で余裕教室がゼロとなる。市内の人口増加や周辺の宅地開発の状況を見ると推計を大きく超える可能性もあり、教室不足が懸念されるが、市の見解を伺う。
市) 現状では教室不足にはならないと考えているが、仮に想定外の状況になった場合にはあらゆる工夫を行い対応していく。

新府中街道の陸橋高架下の活用について

だて) 以前から要望が出ている陸橋高架下の活

用に向けたその後の検討状況を伺う。

市) 所管する東京都に改めて確認したが、引き続き工事用資材置き場として使用すると回答。
だて) バasketコートやテニスの壁打ち、ドッグラン、防災倉庫、集会所など、多用途に使用が可能な場所であり、市民ニーズに資する。部分的にでも使わせて頂けるよう、東京都と積極的に交渉して頂くよう求める。
市) 必要に応じ、東京都と協議をしていきたい。その他にカスハラ、災害時のトイレ対策としてトイレットレーラーの導入について質問しました。

防災・まちづくり・健康・住まい・公共交通

公明党
木島 たかし



災害時のトイレ対策について

木島) 能登半島地震において、トイレ問題があらためて課題となった。人間の尊厳と命にかかわるトイレ対策は重要。本市の備蓄の現状は。
市) 災害時の想定断水率(23%)から必要数を備蓄している。災害用トイレ(し尿処理剤)は8万1,000回分。1人あたり1日5回と設定すると16万回分が必要であり、不足している。
木島) 避難所へのさらなる備蓄を。また家庭でも同様に携帯トイレ等の備蓄が進むよう啓発を。
市) 防災倉庫のスペースが不足しているが検討し備蓄を増やす。また家庭用防災用品購入補助事業の周知を進めるなど自助の対策も支援する。

木島) トイレットレーラー導入検討を。平時から使えるようにするなど有効活用できると考える
市) 財源確保等、現状は課題あるが研究する。
国分寺駅周辺と西国分寺駅東側の活性化に向け
木島) 賑わい、防災、環境、バリアフリー等の視点を。市) 今後の見直しで将来像を検討する。
「健康づくり」のサポート推進を

木島) 歩数などに応じてポイントなどインセンティブが付与される「健康アプリ」を導入し、楽しみながら取り組める施策を。

市) 生活習慣改善の動機づけとして一定の効果期待できると考えている。検討を進めたい。
住まいの確保に悩まれている方に安心の施策を

木島) 障がい者、高齢者、ひとり親家庭など住宅確保に悩まれ配慮が必要な世帯への支援を。そのために居住支援協議会の設置が必要では。
市) 現状のニーズを踏まえ今後研究したい。

今後のぶんバス事業について

木島) 物価高騰等で運行経費が増加とのこと。コミュニティバス導入の多摩24市中、一番安い運賃100円は当市を含め6市のみ。(現在6ルートも他市と比べ多く充実) 事業安定と財源確保のため運賃見直しなど多面的な検討が必要では。
市) 今後も経費増が考えられるため検討したい。

環境変化に柔軟な先進的市政の実現を！

自由民主党国分寺
丸山 哲平



デジタル化推進／デジタルポイント検討促進を

丸山) 以前より提案のデジタル地域通貨・デジタルポイントについて隣接の国立市を含め導入自治体が増加している。本事業の目的は大きく「経済振興」と「市民活動促進」の二つに分けられるが、当市は後者に軸足を置き、制度設計を進め、全庁的に本事業を活かすべきだ。「着眼大局、着手小局」の姿勢で検討促進を求める。
政策部長) 議員指摘の通り、ボランティア活動等の市民活動促進に軸足を置き制度設計をしていく必要があると考える。他市導入プロセスや運営状況等を研究し、本市対応を考えて参る。
肺炎予防/RSウイルスワクチン助成の検討を

丸山) RSウイルス感染症は肺炎を引き起こす原因として、インフルエンザと同等以上の重症化リスクや集団感染リスクから注意喚起されている。同感染症については近年ワクチンが開発されたところだが、市として助成等も含めた検討、対応を図る必要があるのではないか。

健康部長) 同感染症は特に乳幼児や基礎疾患等を有する高齢者は重症化する可能性がありワクチンは予防効果が期待できる。国や都、他市動向も注視し研究して参る。

市内循環経済の促進／高齢者雇用対策を

丸山) 市内経済活性化には雇用促進が重要だ。その中で、高齢者雇用において需要と供給にギ

ャップが生じているのではないかと。市として既存の「施設管理業務」のみならず、その他分野、例えば「デジタル関連業務」等でも積極的に需要を創出し、ギャップ解消に努めるべきではないか。他市事例も参照願いたい。

市民生活部長) 市では今年度「国分寺市就労支援プラン」見直しを行う。議員指摘を踏まえ、関係課や商工会、シルバー人材センター等と需給ギャップ解消をテーマとして議論して参る。

その他) 市HPの改善、野川整備と関連事業、国分寺駅北口まちづくり等につき質問。

急ぎ二次避難所・福祉避難所の現状把握を！

立憲・市民フォーラム
皆川 りうこ



◆二次避難所・福祉避難所について2011年以降、現場の状況の把握は？答) 職員行動マニュアル、備蓄整理、運営上の具体的な手順等の構築は現在課題であり十分に実施できていない。※現場の状況を把握し課題のままにせず取組むように。
◆避難行動要支援者の個別避難計画の作成を進める必要があるが対象者、作成等段取りは？答) 2,200人の現況確認調査し優先者1,800人の名簿を精査した。課題及び実態把握をしていく。
◆「障害者の方向けの防災情報まとめサイト」は、多くの市民へも共有してほしい情報だ。答) 国分寺市障害者自立支援協議会の相談支援部会の取組の一環で情報を集約しわかりやすく提供

するために作成した。ぶんぶんチャンネル、市報、HP等様々な媒体により広報を行う予定だ。

◆市は2024東京レインボープライドに出展したが、更なる啓発で国分寺まつりや市内公民館等での巡回展示を実施せよ。答) 約2千人が立ち寄り成果あり。庁内で調整し周知等検討する。

◆アンコンシャスバイアス解消、男女平等の視点 市の婚姻届けの見本で夫欄にレ点がある。答) 無意識の偏見、誘導になりかねない。夫妻の両方を空欄の見本とするよう改善を図る。

◆他の世代に比して孤立・孤独しやすい年代でもある高齢者の「終活」支援は重要。「エンディングサポート事業」「終活情報を登録する事

業」横須賀市等の取組を参考に検討せよ。
答) 事前準備等包括的な環境整備は重要。国・都の動きもある。今後の課題として研究する。
◆ペットに関して民間団体が相談に乗り対応している。ちらしに市の担当部署の記載の協力を。
答) 民間のチラシを参考に啓発等も含め検討する
◆住宅確保要配慮者を居住へつなぐ活動を市民レベルで行っているが限界もある。市として「居住支援協議会」を立ち上げ持続可能な仕組みを作れ。答) 事例把握等何が最適か研究する。
◆他につくしんぼ相談支援事業、職員研修等